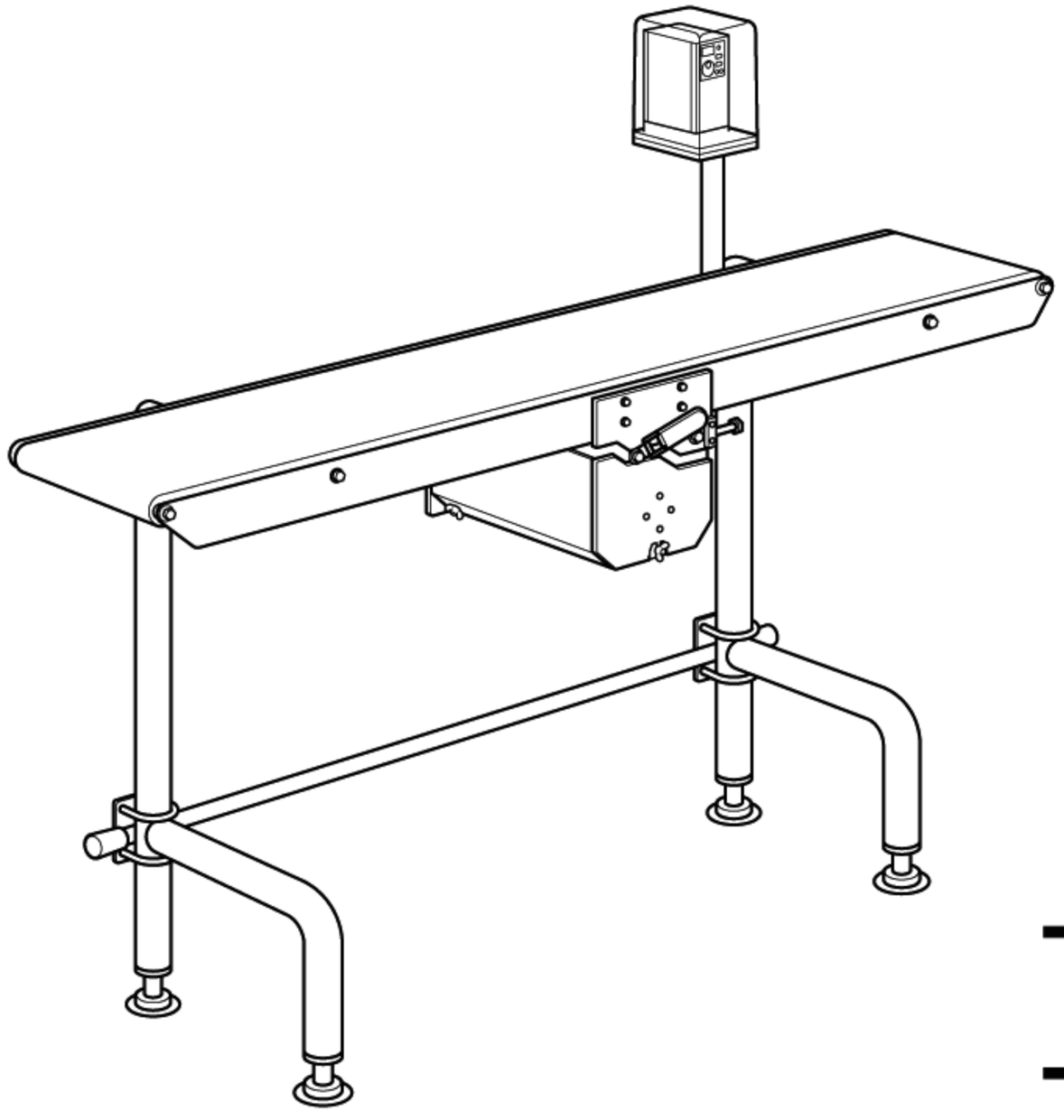
ベルクイック/WQV

サニベヤ® ベルト脱着タイプ

取扱説明書



三機工業

このたびは、サニベヤ®ベルト着脱タイプ「ベルクイック／ＷＱＶ」をご採用いただきありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はコンベヤの設置場所に備え付け、必要に応じてご覧ください。

目　次

１．　取扱い上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
２．　各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６
３．　組　立 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
４．　運　転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
５．　ベルトの着脱方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
６．　ベルトの張り方（テークアップ）・・・・・・・・・・１６
７．　ベルトの蛇行（片寄り）調整 ・・・・・・・・・・・・・１７
８．　ギャドモータの交換 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
９．　点検項目と処置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

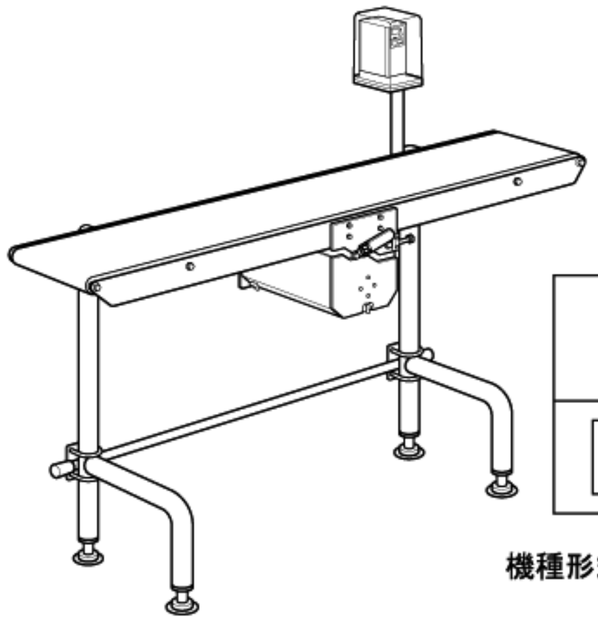
電気用品安全法について

弊社の標準ベルトコンベヤは、固定して安全にお使いください。キャスタ付脚を取り付けてお使いになる場合は、電気用品安全法の「電気用品」に該当しますので、ご注文時にお客様よりご依頼いただいた上で、同法の技術基準に適合した製品として製作および検査をしております。機種によっては対応できないものもございます。また、電気用品安全法の適合品は形式記号の末尾に＃ＰＳＥと記載されております。

＜電気用品安全法とは＞
電気用品の製造、販売等の規制と安全性確保のため民間事業者の自主的活動の促進により、電気用品による危険、傷害の発生を防止することを目的に施行された法律です。特に高い安全性の確保が求められる、一般家庭等の屋内配線設備に直接接続する（コンセントかた直接電気の供給を受ける）電気用品が規制の対象となります。

ご注文通りの製品が納入されているかお確かめください。

万一ご注文の品と異なる点がございましたら、ご使用前にご連絡ください。



（ドライブユニット側面に貼付け）

製作No. 形式ラベル
［記入例］

製作No. （問い合せ時の番号）

製作年月　２０□□年　□□月	ＪＯＢ ＮＯ. □□－□□□□□

WQV	30	－	1.5	C	（	F	90－2	A 14	）	R

機種形式表示略号

呼称ベルト幅をcmで表示
（例：30=ベルト幅cm）

機長をmで表示（例：1.5m）

ドライブ区分の略号表示
（例：C=センタードライブ）

ドライブ区分	略号
センタドライブ	C

モータ区分の略号表示
（例：F=変速）

モータ出力	略号
定　速	C
変　速	F

注：変速はインバータによる

モータ出力と電源の略号表示
（例：90=90W, 2=200V単相）

モータ出力	略号
90W	90

電源区分	略号
100V単相	1
200V単相	2
200V三相	3
その他	0

モータの配置
（進行方向左：L、右側：R）

注：ベルト取外し方向はモータの配置の反対側になります。

電源周波数と
ベルト速度の略号表示
（例：A=50Hz,14=14m/min）
注：変速のときは最高速度を表示

周波数	略号
50Hz	A
60Hz	B

1 取扱い上のご注意

安全にご使用いただくために

A． お使いになる前に

注 意 (caution)

取扱いを誤った場合に、傷害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。

■運搬・組立時

運搬・組立などの時にコンベヤを落としてケガをしないように十分に注意して行ってください。また、クレーン等による吊り上げの時のバランスにも注意してください。

■アース線・漏電しゃ断器

感電防止のため、必ず「アース線」を接続してご使用ください。
また、電源側に「漏電しゃ断器」を取付けてご使用ください。
（電気設備技術基準に定める保護装置のある回路でご使用ください。）

■非常停止装置

万一のとき、直ちにコンベヤを停止できるように「非常停止装置」を設けてご使用ください。

■起動警報装置

運転操作位置からコンベヤをすべて監視できない場合には、起動を予告する「起動警報装置」を設けてご使用ください。

注 意 (caution)

取扱いを誤った場合に、傷害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。

■コントロールユニット類の水ぬれ防止

コントロールユニット類は防滴仕様になっていません。これらには直接水などがかからないように、必ずカバーを付けてご使用ください。また、濡れた手で電気部品に触れないでください。

■爆発雰囲気使用禁止

爆発の危険のある雰囲気（危険なガス、粉塵などのある場所）では使用しないでください。

□ 高所または傾斜でご使用の場合は…

■下面カバー･立入り防止柵

コンベヤ下に人が立ち入る恐れがある高さの部分には危険防止のため必ず「下面カバー」または「立入り防止柵」（いずれもオプション）を設けてください。

■ガイドレール・上面カバー･サイドカバー

運搬物の落下を防止するため「ガイドレール」または「上面カバー」「サイドカバー」（いずれもオプション）を取付けてください。

■ブレーキ装置

傾斜でご使用の時、コンベヤの逆走・逸走のおそれがある場合は「ブレーキ装置」（オプション）を取付けてください。

■ 周 囲 条 件

周囲温度： ０℃～＋４０℃
周囲湿度： 相対湿度９０%以下（結露のないこと）
雰 囲 気： 屋内（腐食ガス、ちり、ほこりのない所）
標 高： １，０００m以下

［注］ 放送機器や高周波ウェルダー機器の近くなどの強電界場所では、誤動作を起こすことがあります。（その場合は設置場所をできるだけ離すか、十分なシールドをしてください。）

B．運転中には

警 告 (warning)　取扱いを誤った場合に、重大災害が生じることが想定される場合

■接触禁止
コンベヤ運転中は、絶対に手を触れないでください。
コンベヤに巻き込まれてケガをする恐れがあります。

■上乗り禁止・下入り禁止
コンベヤの上に乗ったり、コンベヤの下には入らないでください。転倒したり、コンベヤに巻き込まれたり・はさまれたりしてケガをする恐れがあります。

注 意 (caution)　取扱いを誤った場合に、傷害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。

■はさまれ・巻き込まれ防止
コンベヤに近づいて作業を行う場合は、はさまれ・巻き込まれないよう十分ご注意ください。思わぬケガをする恐れがあります。

■安全カバーは外さない
安全カバーなどがついている場合は、保守･点検などの時以外は外さないでください。プーリなどの回転部に巻き込まれてケガをする恐れがあります。

■高温注意・モータにふれない
コンベヤ運転中および停止直後は、モータ・コントロールユニットなどに手を触れないでください。高温になることがあり、火傷などの傷害のおそれがあります。

注 意 (caution)　取扱いを誤った場合に、傷害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。

■負荷起動禁止
コンベヤ上に運搬物をのせたまま起動しないでください。過負荷になりモータを焼損する恐れがあります。特に変速仕様のとき低速で長時間運転するとモータを焼損することがあります。カタログに表示されている所定の仕様・運搬能力の範囲内でご使用ください。

■ぶら下がり禁止
傾斜コンベヤの先端にぶら下がったり、押し下げたりしないでください。転倒などでケガをする恐れがあります。

C．お使いになった後に

注 意 (caution)　取扱いを誤った場合に、傷害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。

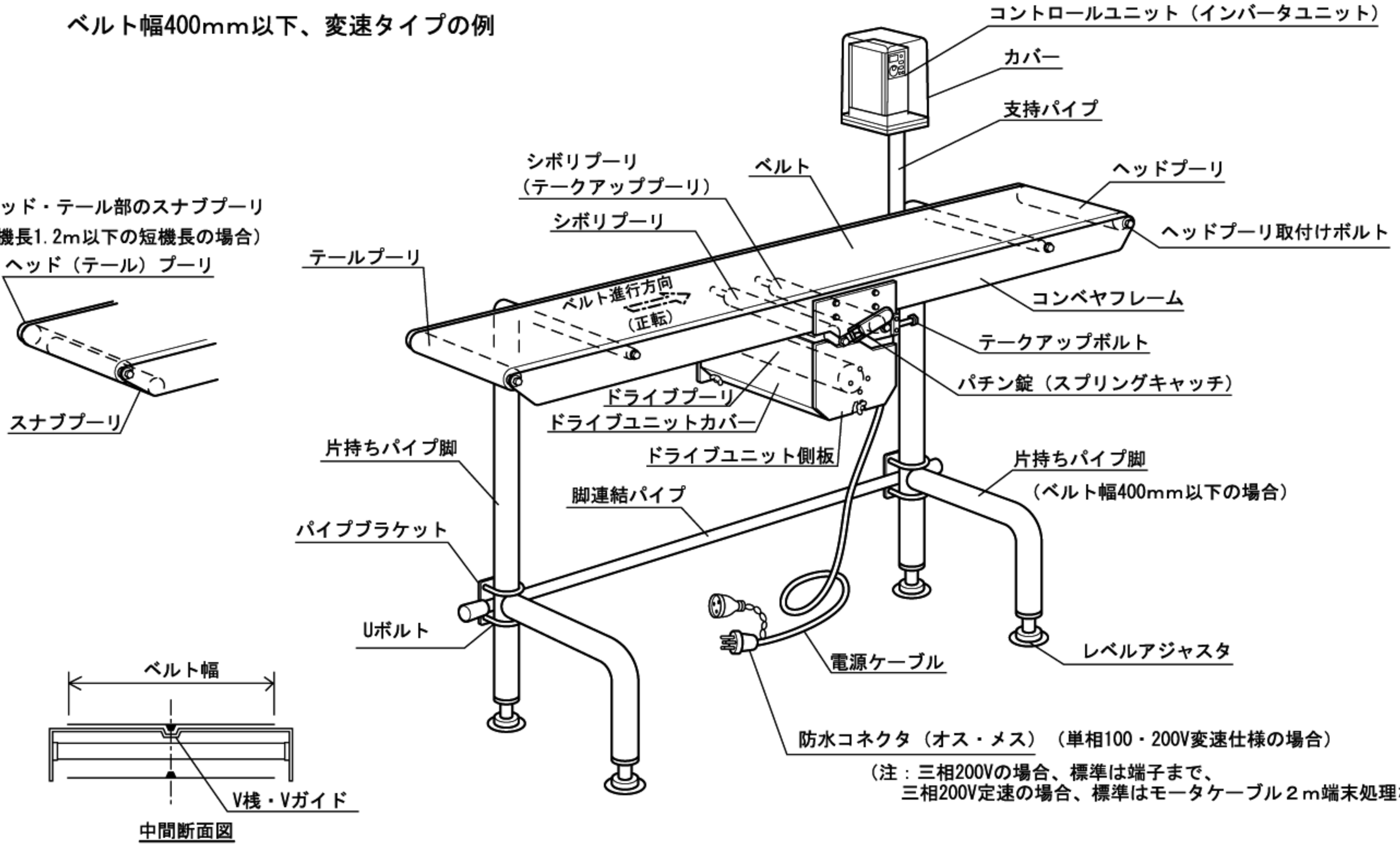
■電源を切る
移動・点検・清掃などのときは、必ず電源を切ってから行ってください。電源が入っていると突然コンベヤが起動する恐れがあり危険です。また、長時間ご使用にならないときは、漏電防止のため必ずコンセント(またはコネクタ)プラグを抜いてください。

［注］
1．塩および塩水は、ステンレス材の錆びやベルト収縮の原因となります。これらが付着する場合は、必ず水でよく洗い流し、水気をよくふき取ってください。また、鉄サビも移りますので鉄粉や鉄の接触にはご注意ください。
2．次のコンベヤ部品はステンレス材を使用していません。サビが発生する場合がありますのでご承知おきください。：キー、軸受、モータおよび電気部品。
3．安全衛生法および労働安全衛生規則を遵守してご使用ください。
4．お客様による改造は、弊社の保証範囲外となりますのでご承知おきください。

2 各部名称

ベルクイック/WQV

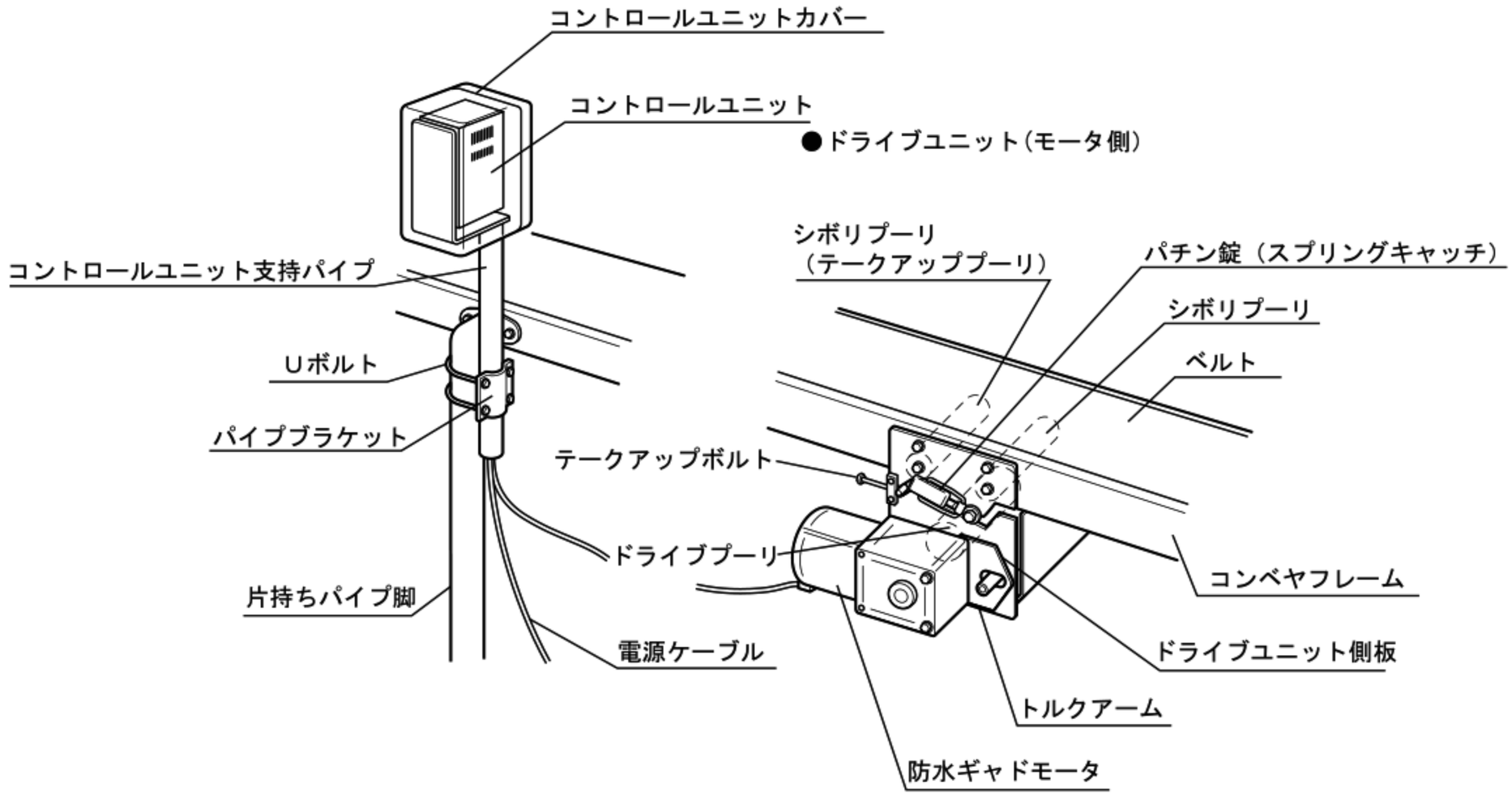
ベルト幅400mm以下、変速タイプの例



●ヘッド・テール部のスナブプーリ
（機長1.2m以下の短機長の場合）

中間断面図

●コントロールユニット部・裏側



3 組　立

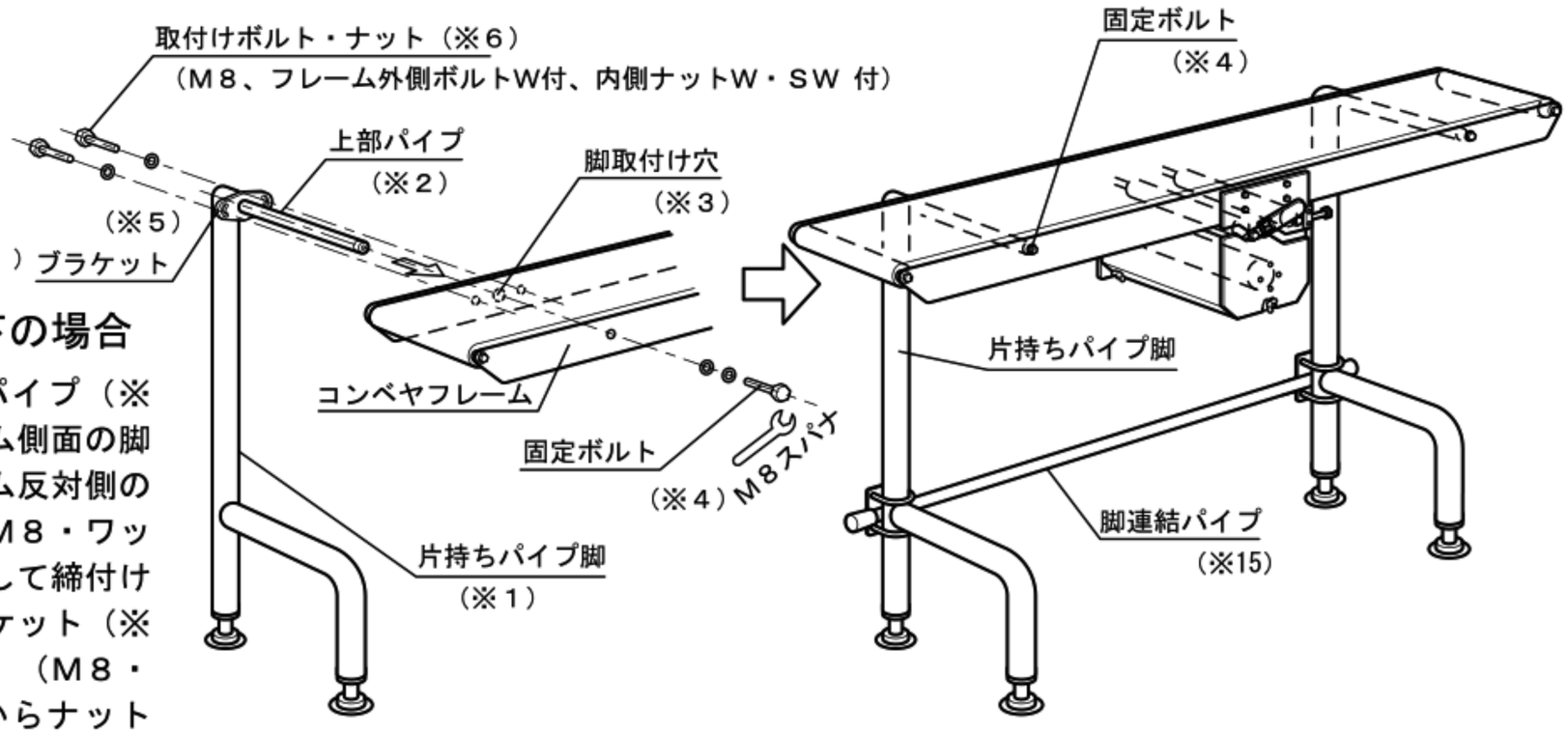
3－1　脚の取付け

［注］ 機長２ｍを超えてコンベヤフレームが分割されている場合は、フレームをジョイント組立て後に脚を取付けてください。
（→次々ページ「３－２　フレームジョイント組立」参照。）

（１） ベルト幅４００mm以下の場合

片持ちパイプ脚（※１）の上部のパイプ（※２）を右図のようにコンベヤフレーム側面の脚取付け穴（※３）に挿入し、フレーム反対側の側面の穴から固定ボルト（※４）（Ｍ８・ワッシャ・スプリングワッシャ付）を通して締付け固定した上、上部パイプ根元のブラケット（※５）の２ヶ所の長穴にボルト（※６）（Ｍ８・ワッシャ付）を通しフレーム内側からナット（Ｍ８・ワッシャ・スプリングワッシャ付）でコンベヤフレームに固定してください。

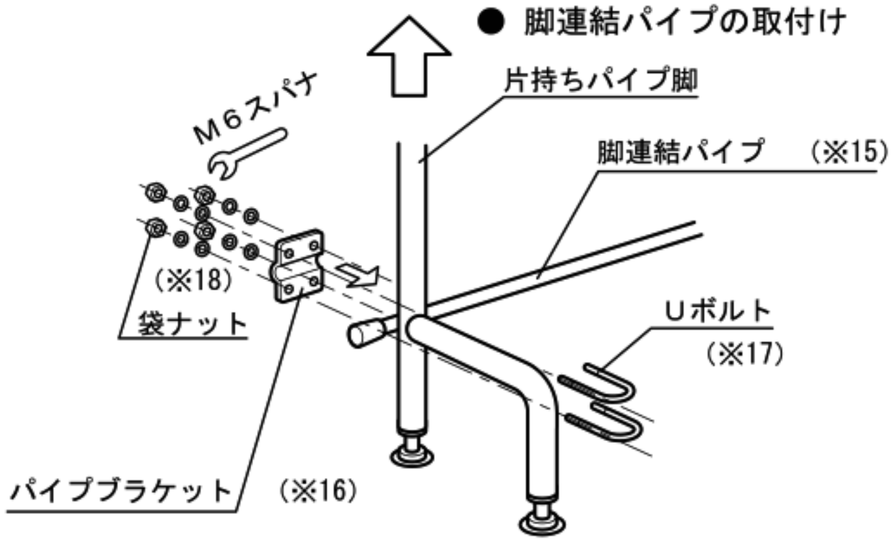
● 脚の取付け　（ベルト幅４００mm以下の場合）

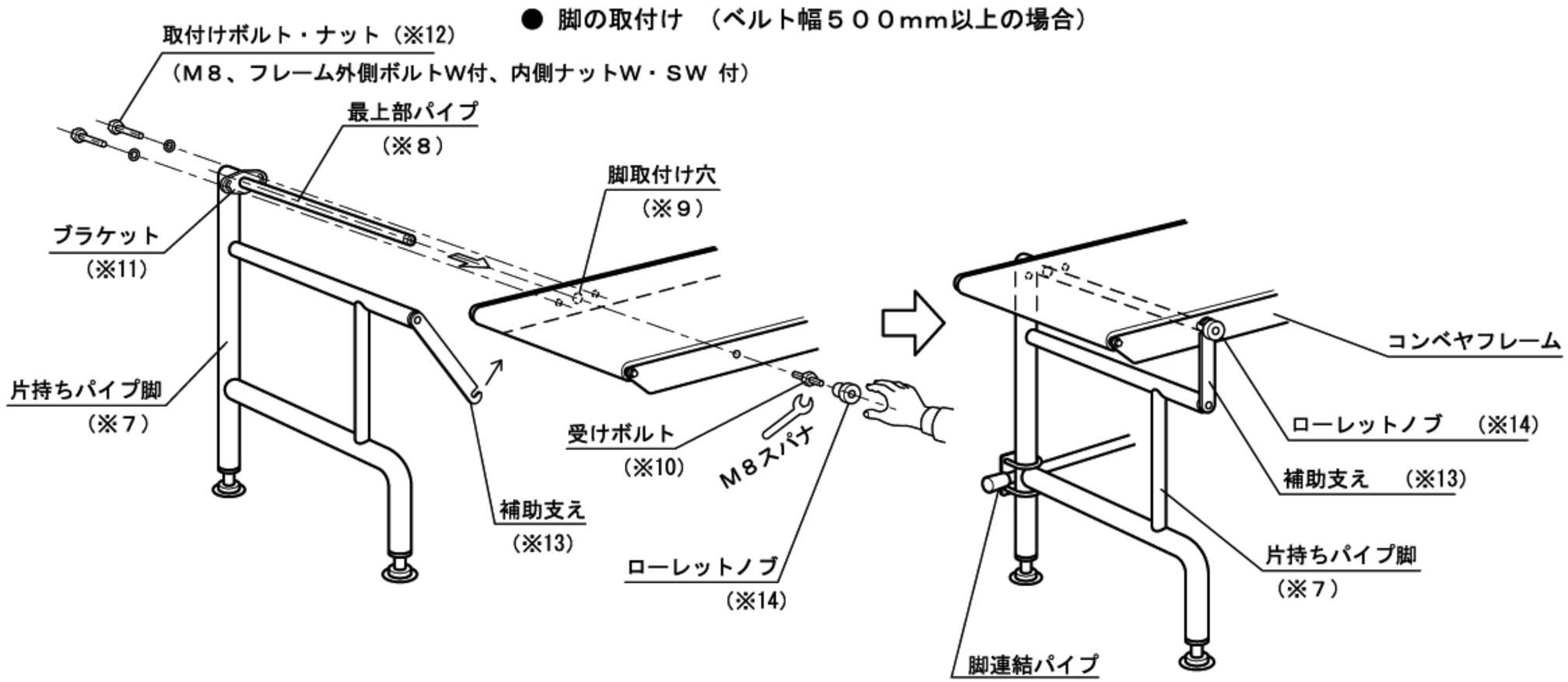


（２） ベルト幅５００mm以上の場合　（⇒次頁上図参照。）

片持ちパイプ脚（※７）の最上部のパイプ（※８）を次頁上図のようにコンベヤフレーム側面の脚取付け穴（※９）に挿入し、フレーム反対側の側面の穴から受けボルト（※10）（Ｍ８）を通して固定した上、最上部パイプ根元のブラケット（※11）の２ヶ所の長穴にボルト（※12）（Ｍ８・ワッシャ付）を通してフレーム内側からナット（Ｍ８・ワッシャ・スプリングワッシャ付）でコンベヤフレームに固定してください。
更に片持ちパイプ脚（※７）のパイプ端の補助支え（※13）を回転させて受けボルト（※10）の端部に挿入し、ローレットノブ（※14）を締め込んで固定してください。

● 脚連結パイプの取付け



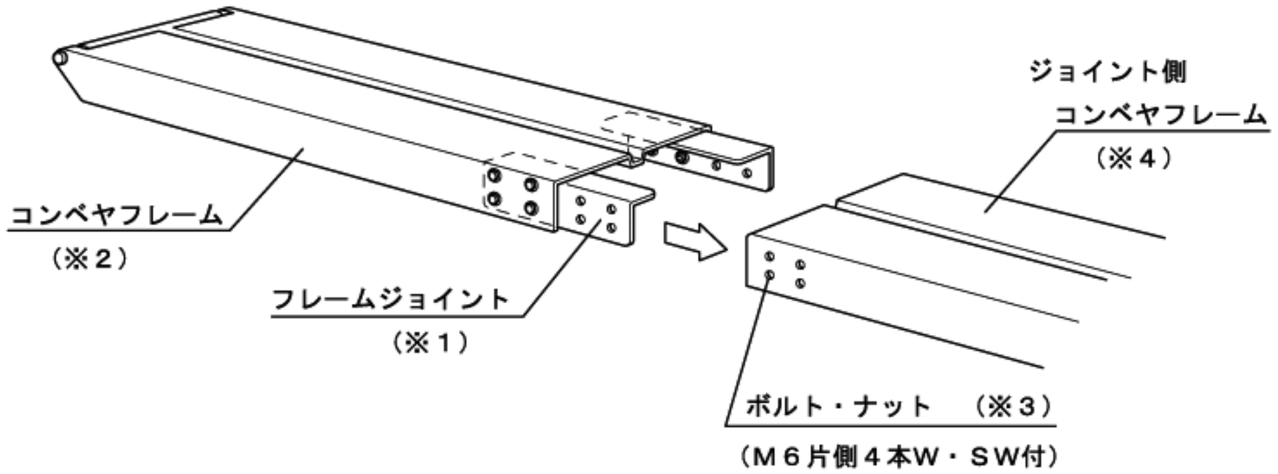


（３） 脚連結パイプの取付け（⇒前頁下図参照）

片持ちパイプ脚を取付け後、脚のゆれ防止のため脚連結パイプを各脚の間に次のように取付けてください。
脚連結パイプ（※15）を各脚の下部に渡し、図のようにパイプブラケット（※16）および Uボルト（※17）で脚のパイプに挟み込むように取付け、袋ナット（※18）（M６・ワッシャ・スプリングワッシャ付）で締付け固定してください。

３－２　フレームジョイント組立

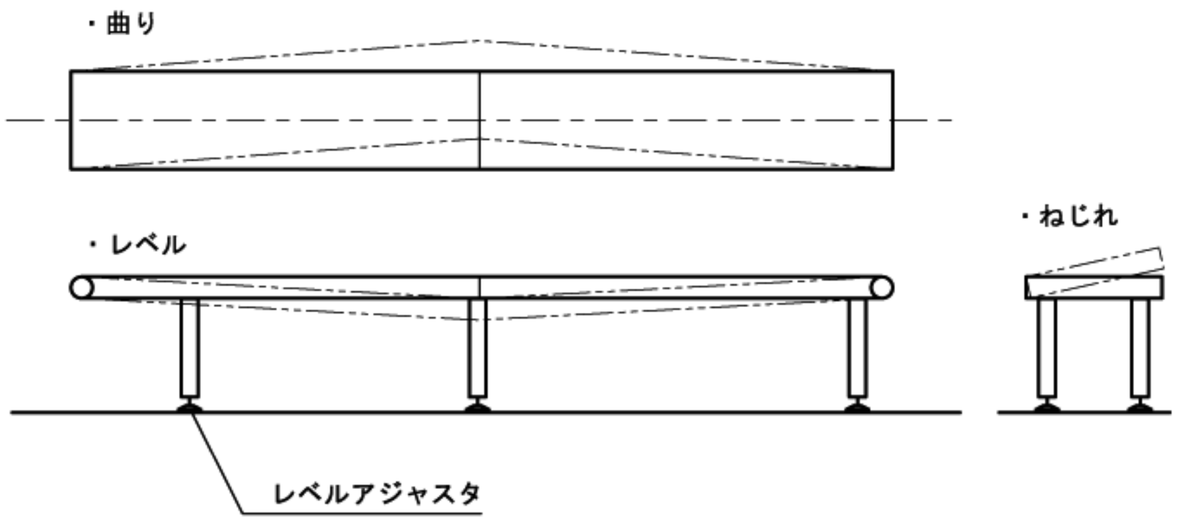
機長２ｍを超えてフレームが分割されている場合は、コンベヤフレームを次のようにジョイント組立てしてください。
フレームジョイント（※１）の片側はコンベヤフレーム(※２)に取付けられています。フレームジョイントのジョイント側左右両側のボルト・ナット(※３)(Ｍ６片側４本・ワッシャ・スプリングワッシャ付）を一旦外し、ジョイント側コンベヤフレーム（※４）の内側に挿入してから再び外したボルト・ナット（※３）を取付けて固定してください。



■コンベヤフレームジョイントおよび設置時の注意

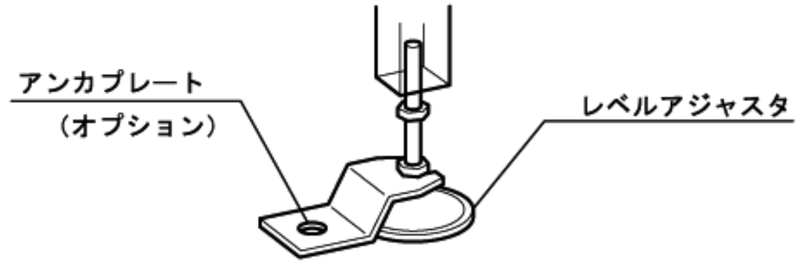
１）フレーム全体は、くの字に曲がらないように真っすぐに据付けてください。

２）コンベヤ上面の水平レベルを出してください。
（脚下のレベルアジャスタで高さを調整します。）



［注］　コンベヤのゆがみや、上面の水平レベルが出ていないとベルトの蛇行の原因となります。

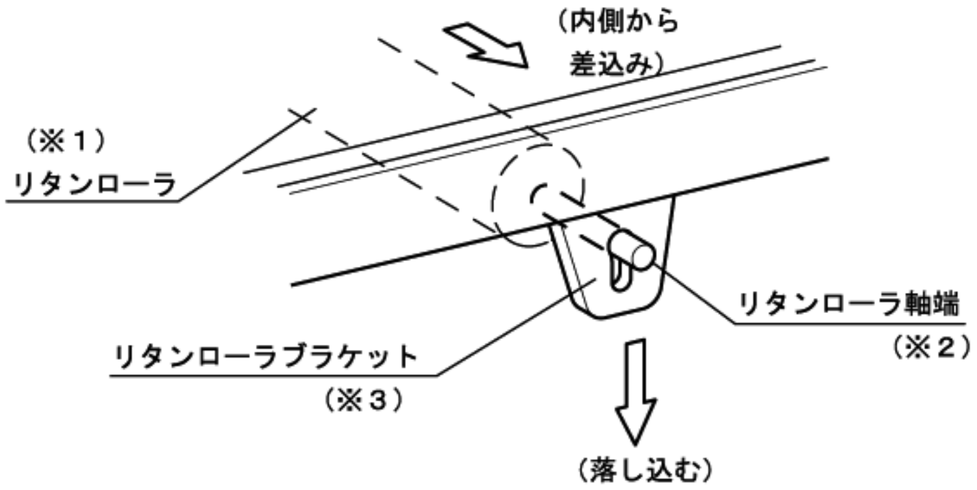
［注］フレームを組み立て配置した後、全体の安定が悪い場合はレベルアジャスタをアンカプレート（オプション）によって床に固定することもできます。



３－３　リタンローラの取付け

機長２ｍを超える場合はリタンローラが付属されます。
リタンローラがフレームと別梱包で納入されている場合は
フレームをジョイント組立した後に、リタンローラ（※１）
の軸端（※２）をリタンローラブラケット（※３）に図のよう
に内側から差込み落し込んで取付けてください。

［注］機長２ｍ以下の場合、リタンローラは付属しません。

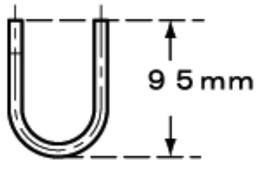


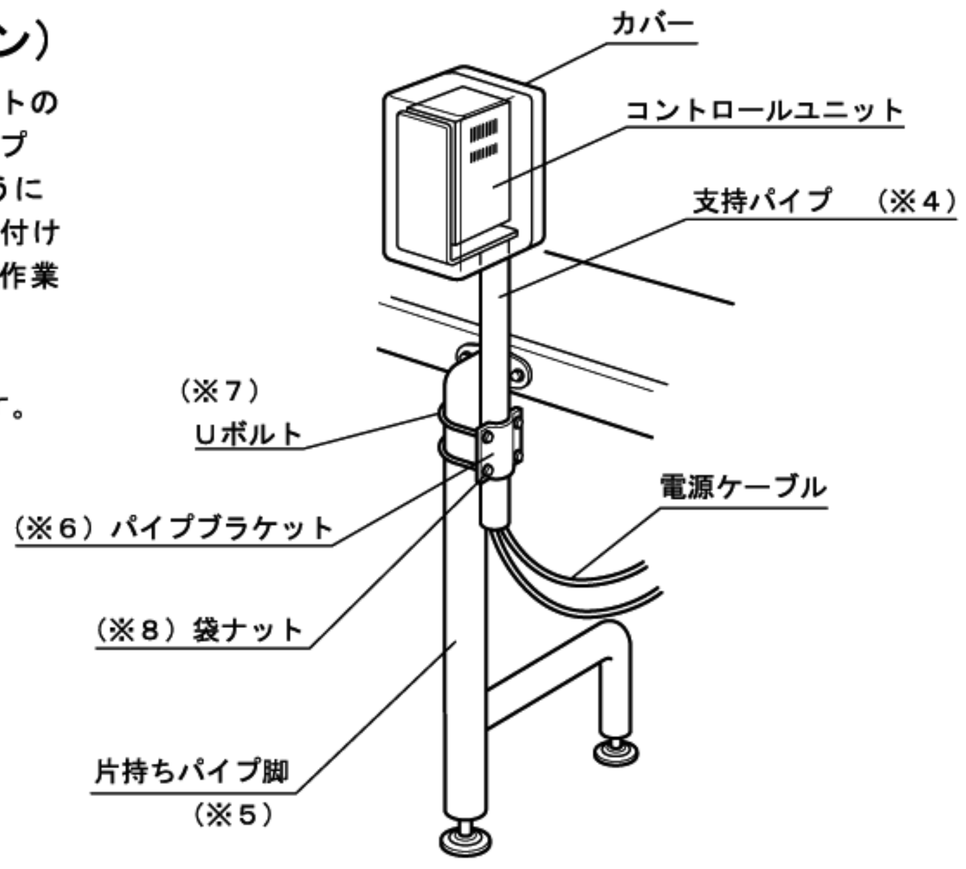
３－４　コントロールユニットの取付け（オプション）

コントロールユニットをコンベヤに取付ける場合は、コントロールユニットの
支持パイプ（※４）を片持ちパイプ脚（※５）に添えて、図のようにパイプ
ブラケット（※６）および Ｕボルト（※７）で脚のパイプに挟み込むように
取付け、袋ナット（※８）（Ｍ６・ワッシャ・スプリングワッシャ付）で締付け
固定してください。この際、コントロールユニットの操作面はコンベヤの作業
側に向けて取付けてください。

［注］Ｕボルト（※７）は脚連結パイプ取付け用Ｕボルトとは長さが異なります。
取付け時にはご注意ください。
（→Ｐ．８～９「（３）脚連結パイプ取付け」参照。）

● コントロールユニット取付用　Ｕボルト（※７）





4 運 転

４－１　運転する前に・・・必ずアースをとってからご使用ください。

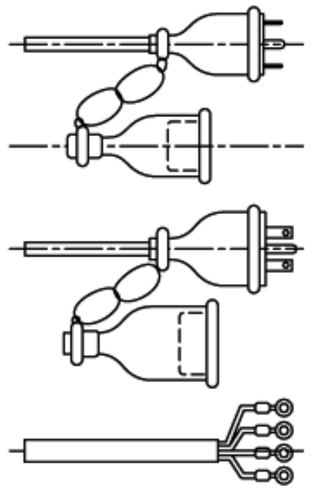
（１）変速仕様の場合：　変速仕様はすべて インバータによる変速 を標準としています。

電源１００Ｖ・２００Ｖ単相　仕様：電源ケーブルにアース付きの防水コネクタ（オス・メス）が付属しています。電源側防水コネクタ（メス側）のアース端子を結線して、必ずアースをとってからご使用ください。

電源２００Ｖ３相　仕様：電源ケーブル端末に丸端子が付属しています。
配線の際、ケーブルのアース端子から必ず所定のアース配線をしてください。

（２）定速仕様の場合：　定速仕様 の標準は 電源２００Ｖ３相 仕様のときのみです。このとき
モータケーブル（長さ２ｍ、端末処理なし）渡しを標準としています。
配線の際、ケーブルのアース線から必ず所定のアース配線をしてください。
スイッチ等コントロールユニットはすべてオプションとなります。
[注]電源１００Ｖ・２００Ｖ単相 仕様 では定速仕様の標準はありません。

●電源ケーブル　端子
（インバータ 変速 仕様の場合）

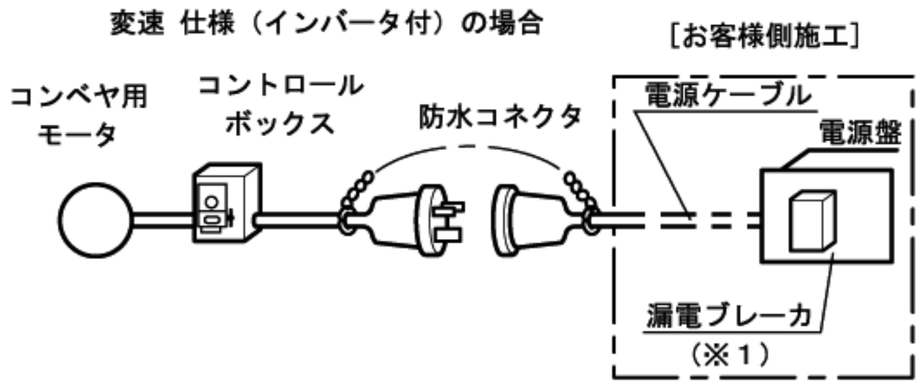


■漏電ブレーカ（漏電遮断機）設置のお願い

本機は水気のある所でご使用になることが多いので、電源側には必ず漏電ブレーカ（漏電遮断機）（※１）を設置してください。

・制御機器の配置

変速 仕様（インバータ付）の場合



4－2 コンベヤの運転(三菱製インバータ変速仕様の場合)

コンベヤが変速仕様の場合、インバータによる変速を標準仕様としています。
インバータは次のように操作してください。

［注］ 運転操作はインバータ操作パネルのカバーを外してから行ってください。
操作終了後はカバーを再び取付けてください。

(1) 電源を入れる

電源を入れるとEXT表示(※1)が点灯します。次にPU/EXTキー(※2)を押し、PU表示(※3)を点灯させてください。(PU運転モード)

(2) コンベヤの起動/停止

起動：RUNキー(※4)を押してください。
停止：STOP/RESETキー(※5)を押してください。

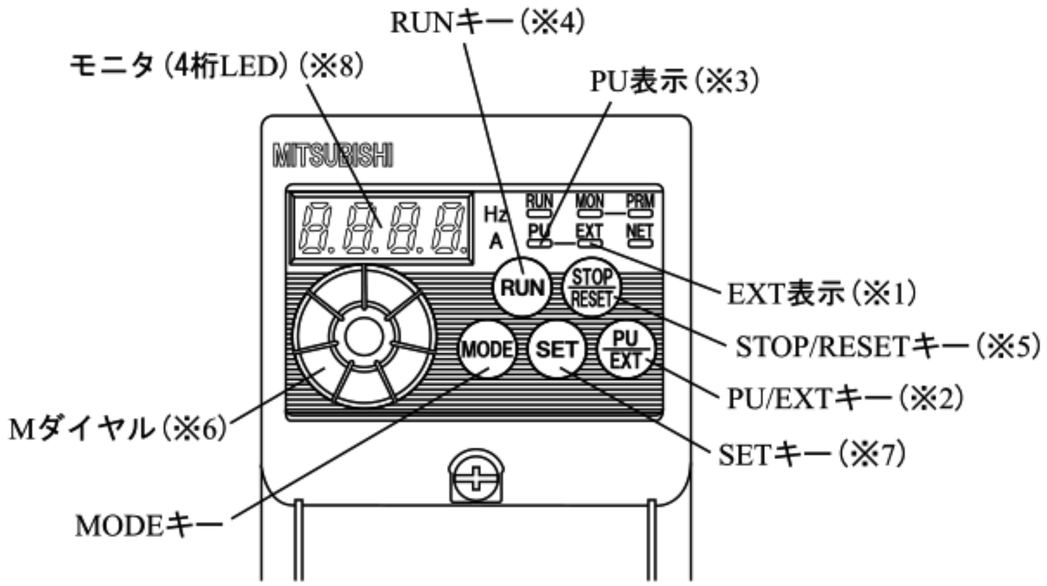
(3) 速度の設定

Mダイヤル(※6)を回し、任意の周波数(モニタ(※8)に表示)に合わせてSETキー(※7)を押してください。(→ SETキー(※7)を押して設定完了となります。Mダイヤルを回すだけでは速度は変わりませんのでご注意ください。)

(4) その他の操作に関して

パラメータの設定により運転方向の変更、外部制御が可能です。
詳細は別添のインバータ取扱説明書をご参照ください。

図：インバータ操作パネル



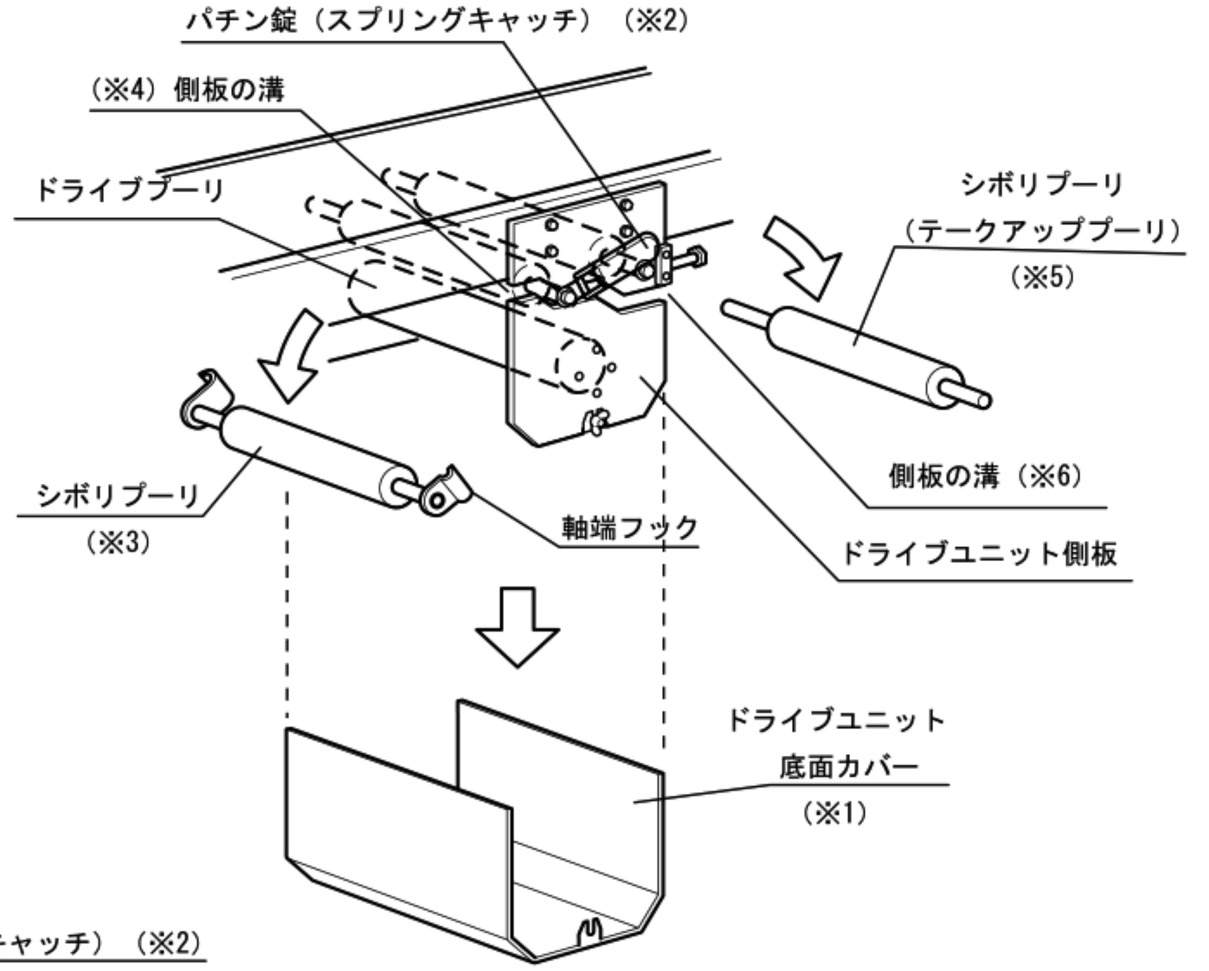
三菱インバータ　FREQROL D700　標準仕様		
適用モータ		90W
定格出力電圧		AC三相200V
電源電圧		型式 710W ： AC単相100V 720S ： AC単相200V 720 ： AC三相200V
許容電圧変動		100V時：90～132V 200V時：170～264V
電源周波数		50/60Hz ± 5%
周囲条件	温　度	−10℃ ～ +40℃ (凍結のないこと)
	湿　度	90%RH以下 (結露のないこと)
	雰囲気	屋内、腐食性ガス・引火性ガス・オイルミスト・じんあいのないこと
	標　高	海抜1000m以下
	振　動	5.9m/s^{2}以下

5 ベルトの脱着方法

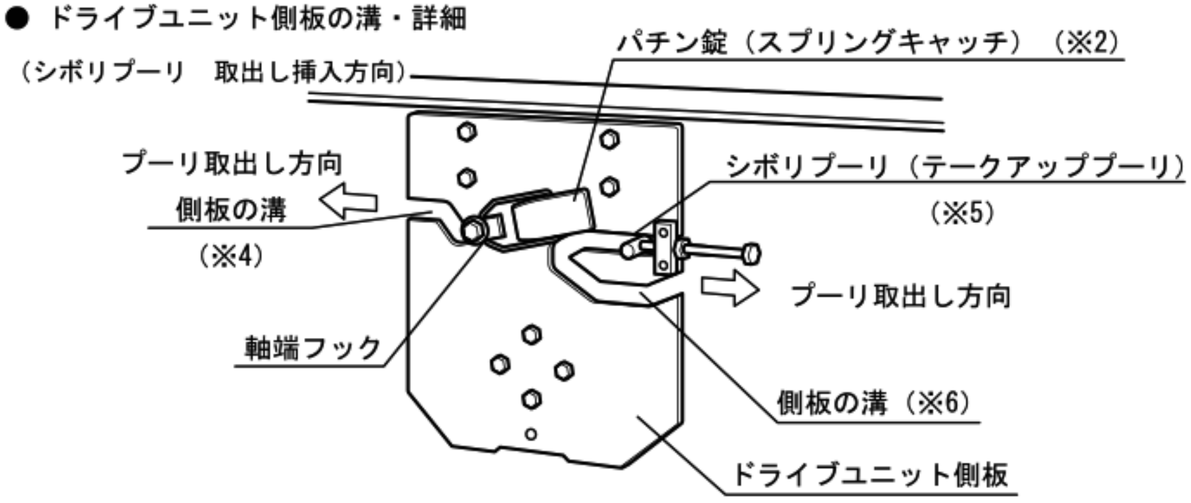
ベルクイック／ＷＱＶ形はベルトの水洗いやベルト交換などのときに
ベルトの脱着が簡単にできるコンベヤです。
次の手順でベルトの脱着を行ってください。

１.ドライブユニット底面のカバー（※１）を蝶ボルト３本をゆるめて
　外してください。（このとき、カバーは手で支えて下に落ちないように
　十分お気を付けてください。）
２.ドライブユニットの左右のパチン錠（スプリングキャッチ）（※２）を
　手前に引いてゆるめ、シボリプーリ（※３）軸端フックをはずして
　ください。
３.シボリプーリ（※３）軸端をドライブユニット左右の側板の溝（※４）
　に沿って移動させ、シボリプーリ（※３）を外してください。
４.もう一つのシボリプーリ（テークアッププーリ）（※５）の軸端を
　ドライブユニット側板の溝（※６）に沿って移動させて外してください。
　（この際、モータ側の軸端は移動しなくてもはずれます。）
５.コンベヤフレームにリタンローラが付属している場合は、外してください。
６.ベルト（※７）はコンベヤ両端から下へ垂れ下がりますので、そのまま
　横へ引抜いて外してください。
７.ベルトを装着する場合は、以上の手順を逆に行ってください。

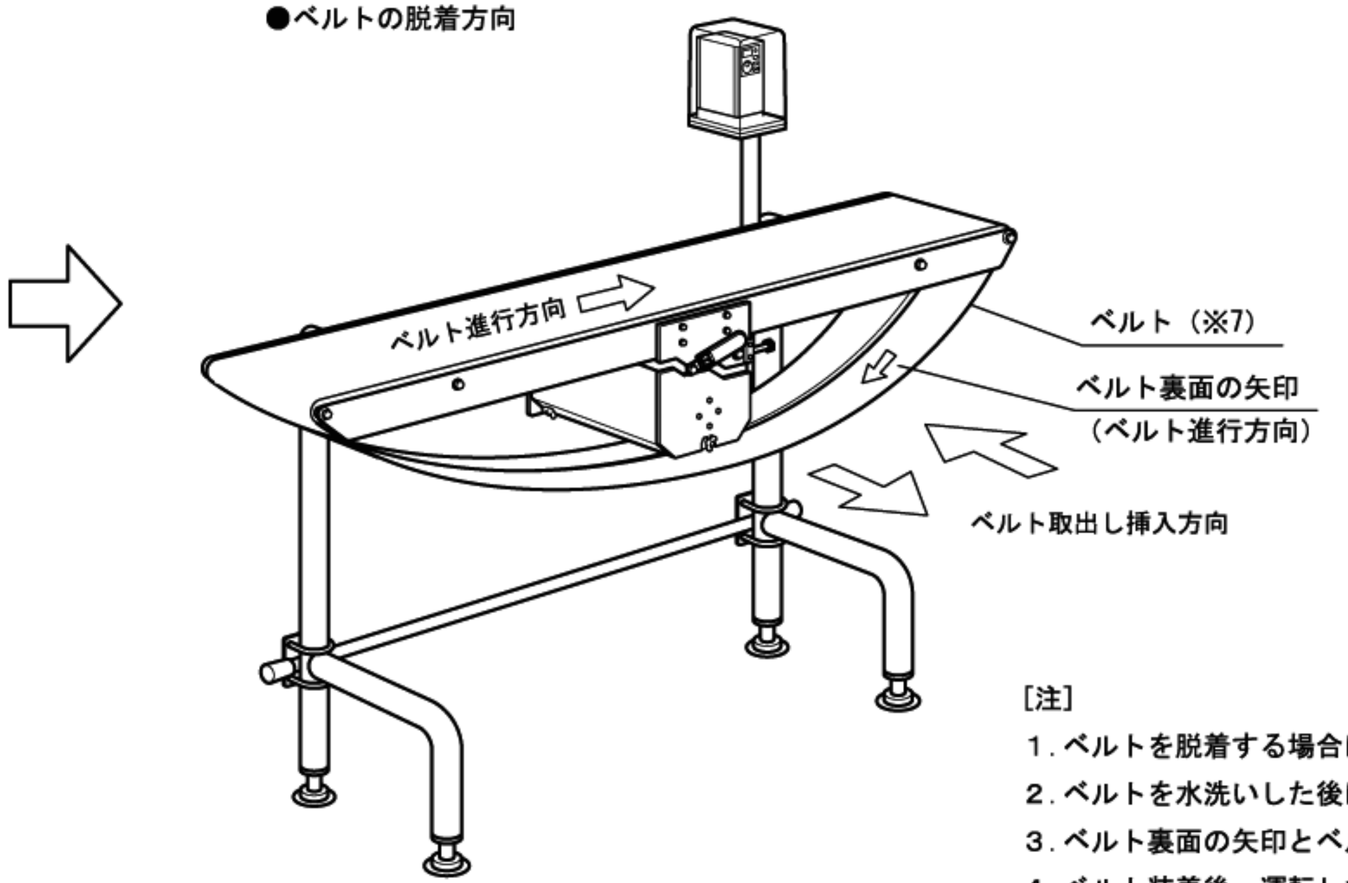
● シボリプーリの取外し



● ドライブユニット側板の溝・詳細



●ベルトの脱着方向



［注］

１．ベルトを脱着する場合は、必ず電源を切ってから行ってください。

２．ベルトを水洗いした後は、水気がなくなるまで十分拭いてから装着してください。

３．ベルト裏面の矢印とベルト進行方向が同じになるように装着してください。

４．ベルト装着後、運転してみてベルトにゆるみがある場合は、ベルトを
張ってください。（→「６．ベルトの張り方（テークアップ）」参照。）
また、ベルトに蛇行（片寄り）がある場合は、ベルトの蛇行調整を行って
ください。（→「７．ベルトの蛇行（片寄り）調整」参照。）

6 ベルトの張り方（テークアップ）

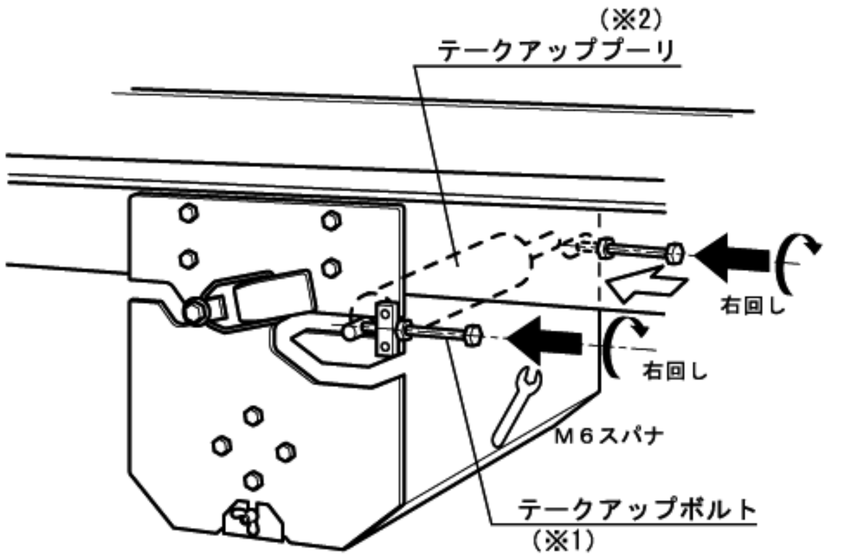
ベルトがゆるんだ場合は、ベルトを張ってください。（これをテークアップといいます。）

ドライブユニットの左右のテークアップボルト（※1）をスパナで右回りに少しずつ回してください。テークアッププーリ（※2）が移動してベルトは張られます。
この際、テークアップボルト（※1）移動距離は左右同じになるようご注意ください。
なお、ベルトを張りすぎた場合は、テークアップボルトを左右同じように逆回りに少し回してもどしてください。

■ ベルトの張り具合について
ベルトはあまり張り過ぎないようにしてください。ドライブプーリとベルトがスリップしない程度に張れば、ベルトは動きます。

［注］
ベルトの張り過ぎは、モータの過負荷やベルト・プーリなどの寿命低下の原因になりますのでご注意ください。

● ドライブユニット



7 ベルトの蛇行（片寄り）調整

使用中にベルトの蛇行（片寄り）が発生した場合は、ゆっくりコンベヤを運転しながら次の手順でベルトの蛇行（片寄り）調整を行ってください。

（１） ヘッド・テールプーリによる調整

ヘッド（またはテール）プーリ（※1）の軸端の固定ボルト（※2）（Ｍ５）をスパナで少しゆるめてから、ベルトが片寄っている側のヘッド（またはテール）プーリ（※1）の軸端側にある蛇行調整ネジ（六角穴付止めネジ）（※3）を六角レンチで右回りに少し回してプーリの片側を少し外側に移動させ、ベルトを張る方向に調整するとベルトは中央に移動していきます。

また、プーリ軸端反対側の蛇行調整ネジ（六角穴付止めネジ）（※4）を左回りに少し回してベルトをゆるめる方向に調整しても同じです。

調整後、ヘッド（またはテール）プーリ（※1）の軸端の固定ボルト（※2）は必ずスパナで締付け固定してください。

（２） テークアッププーリによる調整

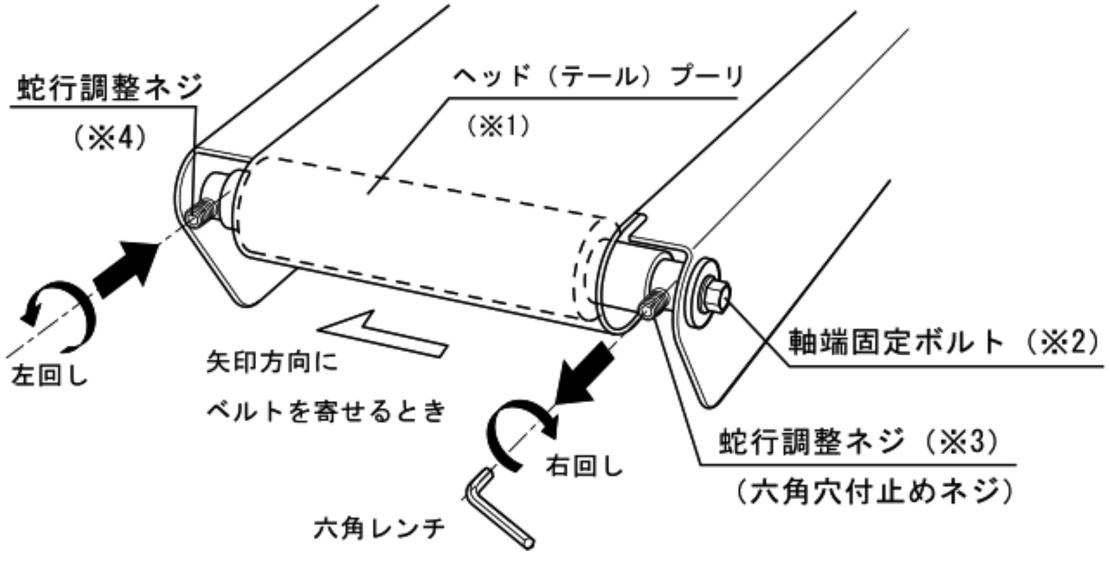
ベルトが片寄っている側のドライブユニットのテークアップボルト（※6）をスパナで左回りに少し回してテークアッププーリ（※5）の片側を少しベルトをゆるめる方向に移動調整するとベルトは中央に移動していきます。

また、プーリ軸端反対側のテークアップボルト（※6）を右回りに少し回してテークアッププーリ（※5）の片側を少しベルトを張る方向に移動調整しても同じです。

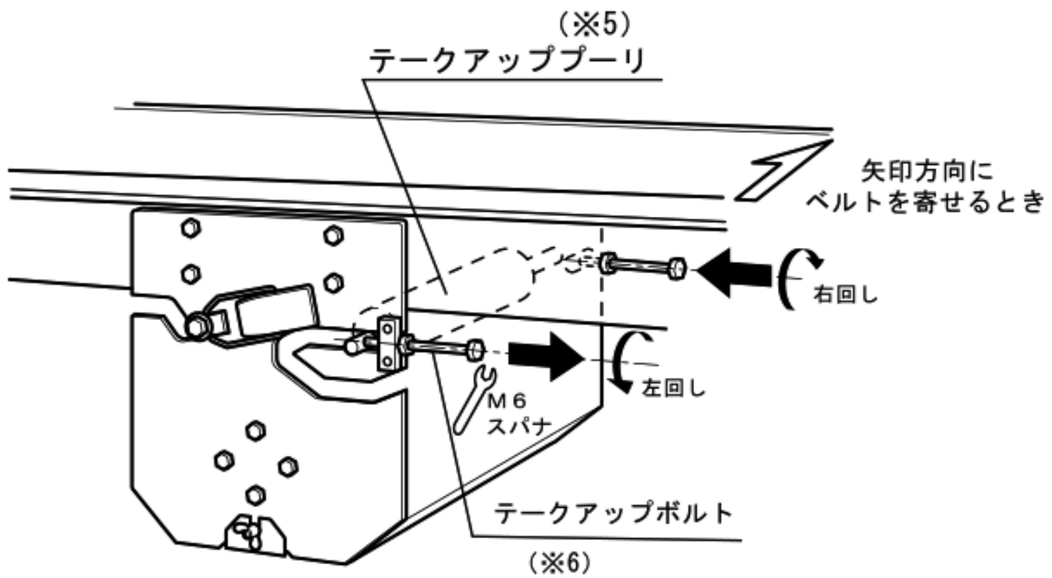
［注］

蛇行調整は、ベルトの片寄り具合を確認しながら少しずつ調整するのがポイントです。ベルトは少しずつ移動しますので、ベルトが落着くまで待って確認してください。

● ヘッド・テールプーリによる調整



● テークアッププーリによる調整

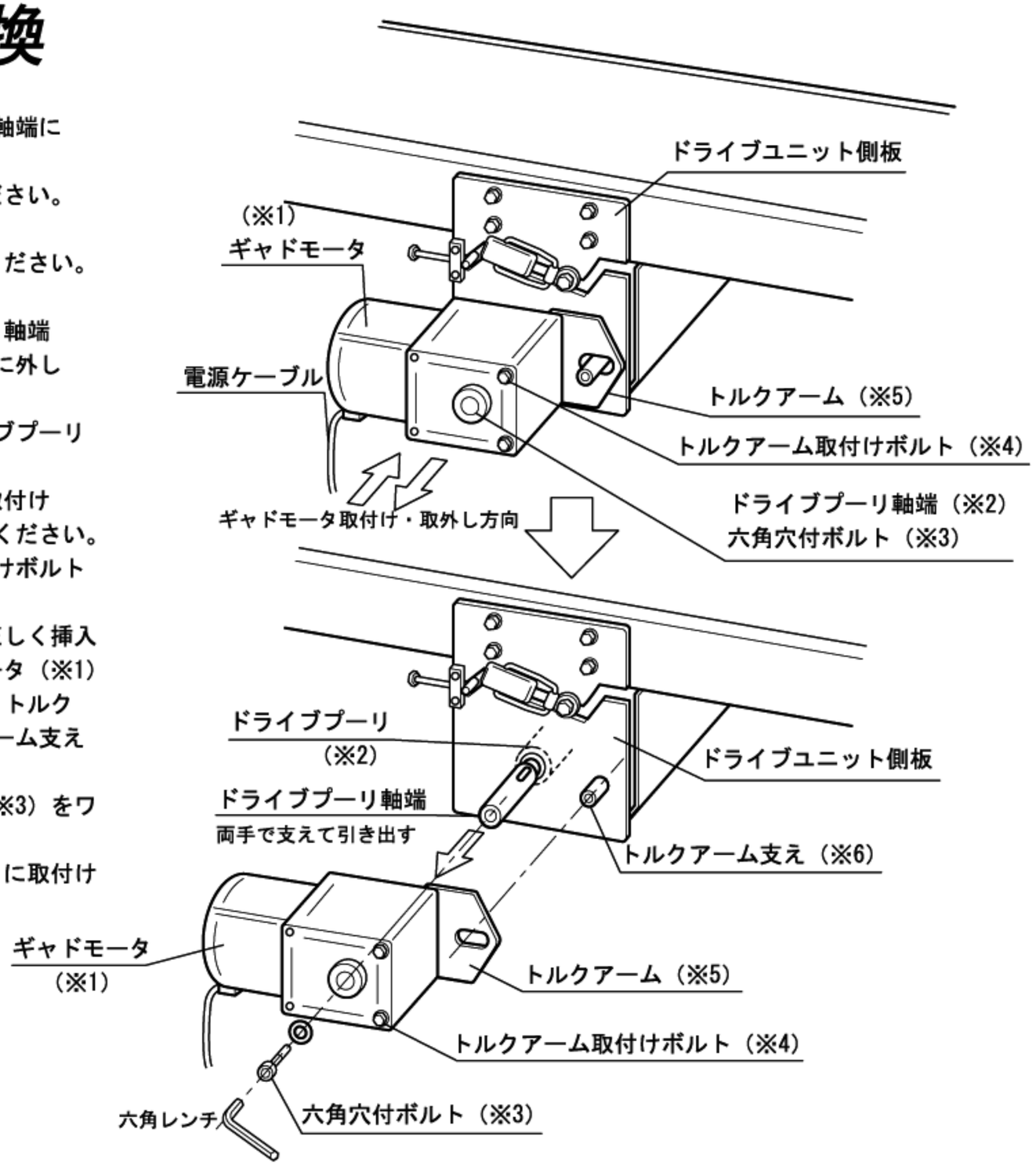


8 ギャドモータの交換

ベルクイック／WQV形のギャドモータは中空軸形でドライブプーリ軸端に取付けられています。
ギャドモータの交換は必ず電源を切ってから次の手順で行ってください。

[注]ギャドモータ軸端にキャップが付属している場合は、外してください。

1 ギャドモータ（※1）の取付けられているドライブプーリ（※2）軸端の六角穴付ボルト（※3）を六角レンチでゆるめてワッシャと共に外してください。
2 ギャドモータ（※1）を両手で支えながら手前に引抜き、ドライブプーリ軸端から外してください。
3 ギャドモータ（※1）に取付けてあるトルクアーム（※5）を、取付けボルト（※4）（Ｍ８六角穴付）を六角レンチでゆるめて外してください。
4 交換用ギャドモータに、先に外したトルクアーム（※5）を取付けボルト（※4）でギャドモータの元の位置に取付けてください。
5 交換用ギャドモータを両手で支えながらドライブプーリ軸端に正しく挿入してください。その際、ドライブプーリ軸端のキーとギャドモータ（※1）の中空軸のキーみぞの位置を合わせて挿入してください。また、トルクアーム（※5）にある長穴を、ドライブユニット側板のトルクアーム支え（※6）に挿入してください。
6 ドライブプーリ（※2）の軸端に、先に外した六角穴付ボルト（※3）をワッシャと共に取付けて固定してください。
[注]ギャドモータ軸端にキャップが付属していた場合は、元通りに取付けてください。



9 点検項目と処置

９－１　　異常原因と処置

状　　態	原　　因	処　　置
1. コンベヤが動かない （電源が入らない）	1　電源（コンセント）は入っていますか。 2　スイッチは入っていますか。 3　電源仕様は合っていますか。	1　点検・確認してください。 2　点検・確認してください。 3　電源を確認してください。　→P.12参照
2. 電源は入っているが、 モータが動かない。	1　配線が外れたり、断線したりしていませんか。 2　変速の場合、回転速度の設定が低すぎませんか。 3　モータ保護回路または非常停止スイッチが作動していませんか。 4　コントロール装置内の故障。	1　配線を点検・修理してください。 2　回転速度の設定を修正してください。 3　保護回路または非常停止スイッチを復帰させてください。 4　コントロール装置内の点検・修理・交換。
3.　モータは動くが、 ベルトが動かない。	1　ベルトがゆるんでいませんか。 2　ベルトが蛇行して噛み込んでいませんか。 または、異物などが付着していませんか。 3　過負荷になっていませんか。 4　ギャドモータのギアが磨耗していませんか。	1　ベルトを張ってください。　→P.16参照 2　ベルトの蛇行調整。　→P.17参照 または、異物を取り除き、清掃。 3　点検。負荷を減らしてください。 4　点検、修理または交換。
4.　ベルトは動くが、 変速できない。 （変速タイプの場合）	1　モータとコントローラの配線が断線していませんか。 2　コントローラ・インバータの設定に誤りはありませんか。 3　コントローラ・インバータの故障。	1　配線の点検、修理。 2　設定の点検、修正。 3　点検、修理または交換。
5.　ベルトを引っ張らない と動かない。	1　ベルトが張りすぎていませんか。 2　ベルトが蛇行して噛み込んでいませんか。 または、異物などが付着していませんか。	1　ベルトをゆるめてください。 2　ベルトの蛇行調整。　→P.17参照 または、異物を取り除き、清掃。
6.　コンベヤに触ると ビリビリする。	1　フレームに静電気が帯電していませんか。 2　漏電していませんか。	1　点検。アースをとってください。→P.12参照 2　点検・調査してください。

９－２　定期点検項目

点検周期	点検部位	点検項目	点検方法	処　置
日常	・ベルト ・ドライブプーリ 　および各部プーリ	・ベルト表面、裏面の異物の付着 ・ベルト裏面Ｖ浅ガイドの溝外れ ・ベルトの噛み込み ・異物の付着	・目視 ・目視 ・目視 ・目視	・異物の除去および清掃 ・点検・正しく再調整 ・点検・調整 ・異物の除去および清掃
１ヶ月	・ドライブプーリ 　および各部プーリ	・表面の磨耗、回転異常	・目視・触診	・点検・調整・交換
３ヶ月	・ギャドモータ	・回転異常・取付け状態の異常 ・モータの発熱、異常音	・目視・触診 ・触診・聴診	・点検・取付け状態の再調査 ・点検・調整・交換
６ヶ月	・フレーム・脚ユニット ・各部取付け部品	・取付けボルトのゆるみ ・各部の損傷	・目視・触診 ・目視・触診	・点検・修理・ボルトの締付け ・点検・調整・交換

［注］

塩および塩水は、ステンレス材の錆びやベルト収縮の原因となります。これらが付着する場合は、必ず水でよく洗い流し、水気をよくふき取ってください。
また、鉄サビも移りますので鉄粉や鉄の接触にはご注意ください。

MEMO

MEMO

製品の保証について

弊社標準コンベヤを正常な使用方法及び保守管理のもとで、保証期間内に万一故障した場合、無償にて故障箇所を弊社所定の方法で修理させていただきます。
製品の故障によって生じた派生的な損害については、弊社はその責任を負わないものとします。

◆保証期間

以下のいずれかに該当した場合、保証期間が終了します。
（１）製品出荷後１年を経過した場合
（２）稼動２４００時間を経過した場合

◆保証除外事項

以下の場合は、保証除外とします。
（１）弊社カタログ･取扱説明書･本体貼付ラベルなどに記載された範囲外の使用をされた場合および適正な保守管理をされなかった場合
（２）契約時の保証除外事項
（３）お客様による使用上の誤り、不当な改造･修理、天災･事故などの外部要因に起因する場合
（４）日本国内で購入された製品を弊社の承諾なしに海外へ持ち出した場合
（５）消耗品（ベルト・ローラ・プーリ・モータなど）

◆修理方法

故障した製品を弊社指定の工場へお持込みください。お持込み出来ない場合は、修理に必要な部品を提供いたしますのでお客様にて交換をお願いします。製品および部品の引渡しは日本国内といたします。

三機工業株式会社

●お問合せは最寄りの下記相談窓口まで

ロジテック部ＣＳ課　**カスタマーセンター**

神奈川県大和市下鶴間1742−7　専任のスタッフがお応えします。

お問い合わせ方法　TEL　046−273−8989　FAX　046−273−8990

URL　http://www.hansou.jp

テクニカルセンターを併設しています！技術相談のサポートはお任せください。

東日本ブロック営業　TEL　03−6367−7625　FAX　03−5565−5240

中部ブロック営業　TEL　052−582−5560　FAX　052−582−5545

西日本ブロック営業　TEL　06−6444−6322　FAX　06−6444−3285

●三機のコンベヤは、製品の管理･輸送には万全を期しておりますが、取扱方法や不具合、ご不明な点がありましたら、最寄りの弊社担当員までご連絡ください。
●本機の細部については改良などのため、予告なく変更することがありますので、あらかじめご承知ください。

取説コード　WQV-005　　'14.04.